

緒 言

地質情報研究部門 沿岸域プロジェクトリーダー

中島 礼

産業技術総合研究所では、平成19年に発生した能登半島地震と中越地震が沿岸域における地質情報の空白域で発生したことを踏まえて、平成20年から平成25年にかけて、産業技術総合研究所の政策課題「沿岸域の地質・活断層調査（沿岸域プロジェクト）」に取り組んで来ました。この課題では、構造地質学、層序学、堆積学、古生物学、地球物理学、地球化学、水文地質学など様々な地質学的手法での調査と研究を行い、陸域と海域の境界を含めた沿岸域の地質情報の空白域を埋めるとともに、海陸にわたって活断層や地層の連続性、重力・磁気異常の分布などを明らかにすることを目的としています。その調査・研究成果は、陸域から海域まで連続する海陸シームレス地質情報集として発信されています。

平成26年度からは、沿岸域プロジェクトの新たな展開として、大都市圏沿岸域における地質・地盤情報整備を進めていくこととして、平成28年度まで関東平野南部沿岸域の調査・研究を実施してきました。その成果として、平成30年度には房総半島東部沿岸域の海陸シームレス地質情報集を出版し、そして令和元年度には相模湾北部沿岸域の調査・研究成果を公開予定です。平成29年度からは、名古屋市を中心とする中京エリアにおける地質情報整備を目的として、伊勢湾・三河湾沿岸域の調査・研究を実施しており、令和元年度が調査の最終年度となっています。この沿岸域にも人口が集中し、国内有数の工業地帯が立地しています。そのため、この沿岸域における地質層序や活断層の分布などを調査・検討し、海から陸までの地質の連続性を捉え、そして活断層や地震などの災害軽減に資する地質情報を整備してゆく所存です。

本報告は、平成30年度に実施した伊勢湾・三河湾の海域及び陸域の調査・研究活動等を主に報告するものです。本報告には、10件の研究成果の報告が収められています。陸域の調査報告として、西三河平野における物理探査、ボーリング掘削調査、地球化学分析、濃尾平野における古地震の再検討、伊勢湾西岸におけるボーリング掘削調査があります。また、海域の調査報告として、伊勢湾・三河湾内における堆積物調査とボーリング掘削調査、音波探査による活断層の履歴調査があります。さらに、東京都における地下層序構築のためのボーリング掘削の調査報告もあります。本報告は、速報として調査終了直後に作成されたため、調査で得られたデータの解析やそれに基づく解釈は十分とは言えませんが、本調査の概要と現状を示し、沿岸域の地質学の進展と社会への研究成果の迅速な還元を進めるものです。

ご高覧いただき、調査・研究内容や成果についてご理解いただくとともに、忌憚のないご意見を賜りたくお願い申し上げます。